



(別紙2-4)

### 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	医療法人 城南会	代表者	山根 邦夫	法人・事業所の特徴	ディ長田では、在宅生活が継続し送れる様、利用者の残存機能維持、向上に努め、自立支援を目指し、「手は出しすぎず、目を離さず」を方針で行っています。利用者様が楽しんで、満足し利用できる様、一人一人に合わせた生活リズムを考慮し、利用者へサービスの提供を心がけています。
事業所名	ディ長田小規模多機能	管理者	比嘉 健		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	1人	人	人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・毎月の施設勉強会開催時、担当職員が事前に調べ、発表し意見を言い合える環境を整える。 ・各職員がスキルアップを図る。(研修、勉強会などの内容を、運営推進会議にて報告する)	・担当職員が事前に知らべ、職員一人ひとりから感想を聴き、内容から今後のケアに繋がられる様な有意義勉強会開催となつた。運営推進会議議事録にて報告する事が行えた。	・どの様に勉強会を行っているのか。	・困難事例についての検討会議を、その都度開催する。(不穏・入浴拒否)等。
B. 事業所のしつらえ・環境	・施設前(歩道)、清掃活動。 ・花壇、プランター等に花を植え、美化活動に取り組む。	・清掃活動を行う事で施設周辺が綺麗になり、地域住民より「ご苦労様」と声をかけられる。 ・職員と地域の方で花を植え、職員が交換で水かけを行い手入れを行っている。	・交流室があり、入りやすい雰囲気である。	・施設1階駐車場に休憩所、意見箱を設置し、地域からの声を運営に反映行える様にする。パンフレットを自由に取れる様に、見えやすい位置に置く。
C. 事業所と地域のかかわり	・立哨活動を行い、地域の通学者や通勤者の安全を見守る。 ・挨拶をする。	・7時45分から8時10分迄の間、横断歩道にて立哨活動を実施。学生から「おはよう」地域の方から「ありがとう」等、声が聴かれる。	・地域清掃、立哨活動に関し、中学校側も助かっている。 ・地域に学校があり、交流行える環境である。	・1階駐車スペースに休憩所を設け、利用されている方との交流を図る。施設を見学し利用者さんと過ごせる環境を整える。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者さんの思い出のある場所へ行き、昔の事を聞き出し、日々の会話に繋げる。	・利用者さんから思う出のある場所を聞き出し、ドライブがてらに外出することで、以前の話が聞け、日々の会話で活かす事ができた。	・日常会話から過去の利用者さんの情報を聞き出し、ドライブなどに出向き、職員間で情報共有していると思う。 ・会話をを行い、共感する事が大切だと思う。	・利用者さんの地域、関係ある方に対し継続して関わりを行って頂ける様な挨拶、声かけを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・全職員が運営推進会議に参加できる交替で複数回にわけ調整する。	・コロナ禍で10月まで、運営推進会議構成員の開催がなく、職員のみでの開催となり、全職員が運営推進会議の目的が理解行えた。	・コロナがで運営推進会議が開催出来ている。	・全職員が交代で、運営推進会議に複数回に分け参加行える様、調整を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	・防災計画、災害マニュアルを確認し話合う機会を作る。	・火災、地震、大雨、台風時などのマニュアルを読み合わせ、職員が防災に対する意識改革が行えた。	・建物の防災対策が行われている。 ・各階に緊急連絡先、防災マニュアルがあつた方が良いと思う。	・各階に緊急連絡先、防災マニュアルを置き、対応が行える。